



あまくさ

市議会だより

第30号

2019年11月号



高校生が議会を身近で体験

9月17日、18日の2日間、熊本県立天草高等学校の1年生が第3回定例会のようすを傍聴しました。

生徒の皆さんは、一般質問での議員と執行部との活発な議論を真剣に聞き入っていました。
(13ページに生徒の感想の一部を掲載)

主な内容

- 補正予算の主な内容 P 2～3
- 平成30年度一般会計歳入歳出決算を認定 P 6～7
- 一般質問 P 9～13
- 政務活動報告 P 14～15

こんなことを
話し合い
決めました

令和元年第3回定例会は、8月27日(火)から9月20日(金)の25日間の会期で行いました。条例の改正や補正予算、決算などの議案等が提出され、慎重審議の結果、すべて原案どおり可決、認定しました。今号では、この中から3件を詳しく紹介します。

今回の議案等は40件

※議案一覧は8ページに掲載。

- 報告 …………… 2件
- 承認 …………… 1件
- 条例 …………… 13件
- 予算 …………… 4件
- 決算 …………… 13件
- 議員提出 ……… 3件
- 請願・陳情 …… 4件



TOPIC
01

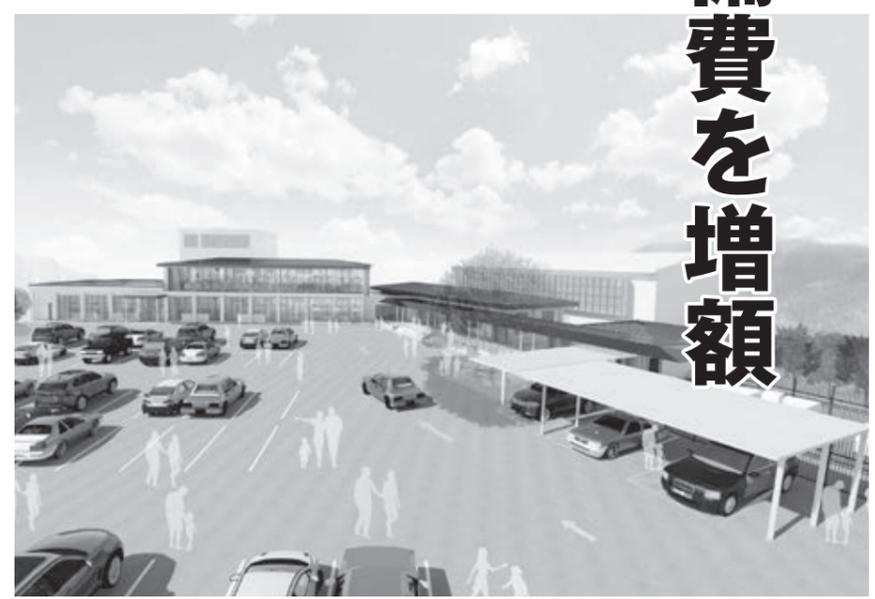
令和元年度一般会計補正予算(第4号)

宮地岳観光交流施設整備費を増額

宮地岳観光交流施設整備事業を含む一般会計補正予算を可決

2億9,212万9千円を増額し総額557億2,702万8千円とする令和元年度天草市一般会計補正予算(第4号)は、9月4日および17日に予算決算委員会にて審査を行いました。今回の補正では、宮地岳観光交流施設の国道への接続道路等の造成費用、既存施設の改修やトイレ棟の施設整備、用地購入を行うための費用が計上されました。

また、コミュニティエフエムの難聴地域となっている深海町に送信施設等を整備する費用やあまくさメディカルネットに参加する医療機関の機器の更新に対応するための補助金なども計上され、原案どおり可決されました。主な補正予算の内容や質疑については、次のページで紹介いたします。



宮地岳観光交流施設の駐車場造成やトイレ棟などの施設を整備

1億1,046万4千円を増額

内容

国道への接続道路および駐車場や進入路の造成費用を新たに計上するほか、既存施設の改修やトイレ棟の施設規模の変更が必要になったこと、用地購入における算定根拠が変更になったことなどにより、事業費が不足することから補正する。

質疑

問 施設管理者には指定管理料を支払うのか。
答 道の駅として24時間開放するトイレなど営利目的でない部分については、指定管理料として支払うことも考えている。

問 店舗の出店や経営シミュレーションなどについては不確定部分が多く、全体が見えない中で施設の整備だけが進むことは問題ではないか。
答 地域との協議において、地域で組織を立ち上げ、施設の指定管理を受託する中で、物販部門についても経験者によるアドバイスを受けながら行っていきたいとの申し出があった。今後も施設の運営については議会に説明を行っていく。

要 議会としても施設の運営および管理は注視をしていくべき事項でもあることから、引き続き所管である建設経済委員会に報告をもとめていく。

深海町にコミュニティエフエム送信所を整備

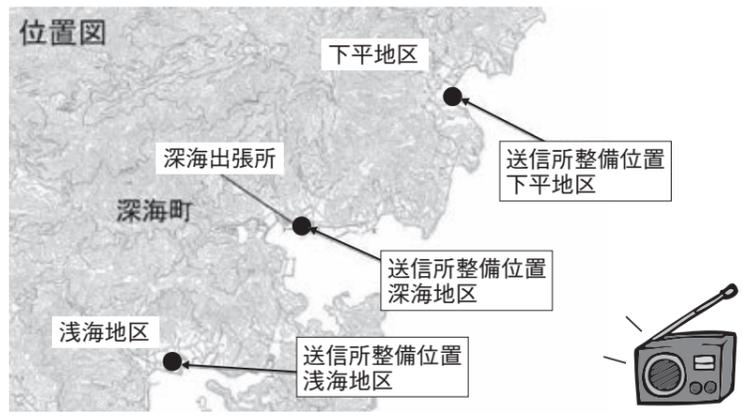
4,019万1千円を増額

内容

コミュニティエフエムは防災無線の補完的役割を担っていることから、深海町に送信施設及び送信アンテナを3カ所に整備し、難聴地域の解消を図るため補正する。

質疑

問 設置する送信局及びアンテナの耐用年数は。
答 機器の更新については、10年を目途に更新を検討しており、毎月、定期点検を実施しながら、予防保守を随時実施していく。



あまくさメディカルネットに参加する医療機関の機器更新費用を補助

1,330万3千円を増額

内容

あまくさメディカルネット(インターネット)を利用した地域医療連携システムに参加する医療機関の機器の更新等に対応するため、協定書に基づき、更新費用を補助する。
・補助対象者 天草郡市医師会
・補助対象経費 参加医療機関の機器(パソコン・ソフト一式68台)の更新費用

※あまくさメディカルネットとは、天草郡市医師会を中心にインターネットを利用し、天草医療圏の医療機関における患者の紹介および逆紹介を始め、救急医療での画像伝達(救急患者の画像転送)や診療における病病・病診連携での活用を行い、天草医療圏の医療機関の連携体制を強化し、中核病院の医療体制ならびに地域医療の充実と向上を図る取り組み。

質疑

問 あまくさメディカルネットに参加している医療機関の数は。
答 市内の71施設中44施設が参加している。

問 今後も更新が必要になった場合は、市で補助するのか。
答 天草市、上天草市、苓北町の協定書に基づく補助となっているため、今後については2市1町で協議したい。

宮下幸一郎議員に対する辞職勧告決議を全会一致で可決

第3回定例会において、議員提出議案として、宮下幸一郎議員に対する辞職勧告決議が提出され、全会一致で可決し、宮下議員へ決議文の送付を行いました。
決議文の内容は以下のとおりです。

宮下幸一郎議員に対する辞職勧告決議

宮下幸一郎議員は、所有するクレーン付きトラック及び軽貨物車の車検及び自賠責保険が切れていたことを認知していたにもかかわらず複数回にわたり公道を運転した。

これにより、道路運送車両法違反(無車検)・自動車損害賠償保障法違反(無保険)により、天草簡易裁判所において35万円の罰金に処する命令があり、平成31年1月24日に確定した。

上記、道路運送車両法違反(無車検)は、重大な法令違反であることは言うまでもないが、それに重ねクレーン付きトラックについては、20年もの間、無車検を続けており、その間、本来納付すべき自動車重量税を納付していない。本税の一部は、本市の貴重な財源となるものである。

また、自動車損害賠償保障法違反は、無保険の状態公道を運転しており、事故を起こした場合、相手方損害を補償できない可能性

が極めて大きく、一社会人としても許されぬ行為である。

議員は市民の代表として高い倫理観と強い責任感が求められているが、一連の事件による議員としての道義的責任は重大である。

議員、議会は行政が法令遵守のもと運営されているかチェック機能を発揮することが重要な役割である。地元駐在所や交通安全協会から注意を受けていたにもかかわらず法令を守らなかった。法令遵守を遂行できない者に行政のチェック機能は果たせないと考える。

よって宮下幸一郎議員に対して、社会的、道義的責任と議会及び議員に対する市民の信頼を著しく失墜させた責任として速やかに議員辞職を求める。

以上、決議する。

令和元年9月20日

天草市議会

TOPIC 02

令和2年4月から制度を創設 会計年度任用職員の給与等 に関する条例を制定

次年度から会計年度任用職員制度を創設し、これまでの非常勤職員の雇用・給与形態を変更

内容

地方公務員法および地方自治法の一部改正により、令和2年4月からの会計年度任用職員制度の創設に伴い、会計年度任用職員の給与等を定めるため、新たに条例を制定する。

勤務時間を29時間以内としていたものを、30時間、または31時間の運用するとともに、RPA(※1)、A1(※2)を活用しながら、業務の効率化を図り、さらなる市民サービスの向上につなげていきたい。

質疑

非常勤職員が増加しているように思うが、行政経営改革大綱の定員適正化との関連はどのようになっているのか。

答 行政経営改革大綱の中では、常勤職員の数を少しずつ減少させると計画しており、非常勤職員についても、平成27年度が604人、平成30年度が503人と100人程度減少している。また、次年度から会計年度任用職員として、勤

務時間を29時間以内としていたものを、30時間、または31時間の運用するとともに、RPA(※1)、A1(※2)を活用しながら、業務の効率化を図り、さらなる市民サービスの向上につなげていきたい。

答 2回の再度の任用を行った後の人事評価での再度の任用はできないため、新たに公募によって合格し、任用された場合は、同一人物の任用はできない。したがって、3年ごとに公募し、合格すれば、任用の回数の制限は設けない。

(※1)ロボティック・プロセス・オートメーション。認知技術を活用した、主に事務業務の効率化・自動化の取り組み。
(※2)人工知能。言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピューターに行わせる技術。

TOPIC 03

令和元年10月1日から 幼児教育・保育の無償化が スタート

対象となる子どもたちの保育所・幼稚園等の利用料が無償化

内容

子ども・子育て支援法等の一部改正に伴い、基準省令を参酌し、条例を改正する。

本年10月から施行される「幼児教育・保育の無償化」により、認可保育所、幼稚園等を利用する子どものうち、3歳から5歳までのすべての子ども、また、0歳から2歳までは、住民税非課税世帯の子どもが利用料が無償化される。

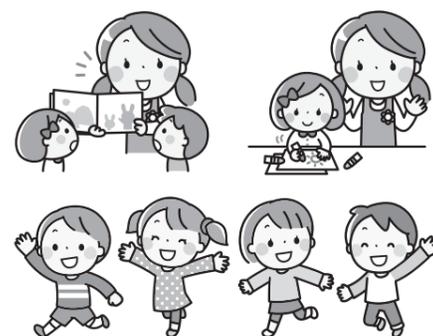
また、幼稚園の預かり保育や認可外保育施設を利用する子どもたちも要件を満たすと、利用料が無償化となる「施設等利用給付」が新しく創設される。



質疑

無償化に伴う令和2年度以降の財源はどうなるのか。

答 本年度は、国からの臨時交付金があるが、令和2年度からは、国が2分の1、県および市で4分の1ずつの負担になる見込みである。



天草市議会を 傍聴してみませんか

市議会定例会の本会議や常任委員会には、どなたでも傍聴することができます。

また、直接議場へ来ることができない場合でも、本会議はケーブルテレビやホームページで中継を行っています。

※次の定例会の日程は以下のとおりです。

傍聴に行くには

天草市役所3階の議場で行われています。

中継を見るには

ケーブルテレビ、天草市議会のホームページをご覧ください。ホームページは、天草市議会のホームページから、インターネット中継へお進みください。

※市のホームページは、パソコンのほか、スマートフォンやタブレットでもみることが出来ます。

令和元年12月定例会 会期日程(予定)

期日	会議	議事日程
12月3日(火)	本会議	開会 提案理由の説明
12月6日(金)	本会議	質疑
12月9日(月)	休会	市民生活委員会 建設経済委員会
12月10日(火)	休会	総務政策委員会 教育厚生委員会
12月11日(水)	休会	予算決算委員会 (補正予算)
12月16日(月)	本会議	一般質問
12月17日(火)	本会議	一般質問
12月18日(水)	本会議	一般質問
12月20日(金)	本会議	委員長報告・討論 採決・閉会

移住・定住促進対策事業 2,672万円

本市への移住・定住を希望・検討する都市在住の住民等を受け入れ、定住等による人口の増加と地域の活性化を図る。

質疑

問 事業実績および今後の事業計画は。

答 平成30年度までの11年間で291世帯569人が移住されている。引き続き「天草市移住・定住促進計画」に基づき事業推進を図るとともに、PRを強化し、都市部における移住フェアにおいても天草ライフの魅力を伝え、移住者の増加を図っていききたい。



地域おこし協力隊 活動推進事業 2,810万円



地域おこし協力隊を導入することにより、地域の活力の維持および強化を図る。

質疑

問 地域おこし協力隊の活動実績は。

答 平成30年度末で9人配属されており、天草大陶磁器展における商品レイアウト等の改善による売り上げの増加、元ALTと共同での英語マップの作成、フットパスコースの充実やモニターツアーの開催、ふるさと便の売り上げ増などの実績が上がっている。

健康ポイント事業 1,460万円

市民自らが運動を始めるきっかけづくりを行い、運動習慣の定着を図り、生活習慣病の予防と健康寿命の延伸を目指す。

質疑

問 健康習慣の意識を広げるのであれば、毎年同じ達成者に商品券を交付するのではなく、新規の達成者に交付すべきではないか。

答 働く世代の達成者が少ないため、今年度から新たに事業所向けの取り組みを追加するとともに、個人からグループへ、仲間を誘う取り組みに事業内容の見直しを行った。



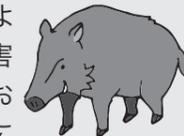
有害鳥獣捕獲対策事業 6,738万円

野生鳥獣による農作物被害が頻発しており、市民生活に悪影響を及ぼしていることから、その防止および軽減を図る。

質疑

問 イノシシ捕獲隊員の高齢化への対策は。

答 捕獲隊員の狩猟免許取得補助を継続していくほか、国の方針においても、自衛捕獲として一定条件のもと、JAなどの農業法人に許可を出せるようになってきたので、被害を受ける農業者にも捕獲してもらうことで、捕獲者の確保ができるようになるのではないかと考え、研究を進めている。



天草宝島物産公社運営事業 1,309万円

農林水産物や加工品などの天草の特産品とその情報を広く収集・発信し、都市部飲食店とのマッチングを行うことで販路拡大に取り組むとともに物産振興による地域経済の循環的継続を図る。

質疑

問 公社を通さなくても取引ができるよう生産者を支援していくことも必要ではないか。

答 公社にもマッチングや受発注窓口の一元化という重要な役割があるが、今後はその点についても支援をしていきたい。

意見

将来的に生産者が自立して取引できるような方向性を持っていくべきではないか。

スクールバス運行事業 4億981万円



小・中学校の統合により、遠距離通学となった児童・生徒の安全かつ安心な通学手段を確保する。

質疑

問 予算額も大きく、朝夕の送迎時以外や休日のスクールバスの一般への活用など、教育委員会だけではなく地域公共交通全体で検討すべき課題ではないか。

答 スクールバスは、学校統合時の通学手段の確保ということで詳細な運行計画を作成しているが、公共交通担当部署との協議も行っていきたい。

平成30年度一般会計歳入歳出決算を認定 決算審査を予算編成に反映を!!

予算決算委員会では9月9日、10日、11日、12日に平成30年度一般会計歳入歳出決算の審査を行い、認定しました。

なお、決算の詳細については市政だより天草11月号に掲載されていますので、本紙では審査の際の質疑の内容等をお知らせします。

平成30年度一般会計

歳入	588億9,056万7,480円
歳出	560億9,966万7,866円
差引	27億9,089万9,614円

決算ってなに？ なぜ議会で審査するの？

地方公共団体における決算とは、一会計年度の歳入歳出予算の執行の結果・実績を表示する計数(表)をいい、事務事業の目的や成果を明らかにすることに加えて、公金の適正な収入及び支出を明らかにしなければなりません。

このため「決算」は、地方自治法の定めにより、会計管理者が作成調製し、監査委員の審査を経て、市長が市議会に提案し、市議会の認定を得ることになります。

監査委員の意見の一部をご紹介します

本市においては、歳入の大部分を占める地方交付税の削減や、人口減少に伴う市税の減少などにより、歳入の確保については、これまで以上に厳しい状況が続くと思われる。

一方で、子育て支援に関連する経費や、医療・介護などの社会保障関係経費の増加は避けられない状況にあり、さらに公共施設の老朽化への対応や複合施設建設や都市計画道路の整備など、大型の公共事業にも今後多大な経費が見込まれている。

本市においては、企業創業・中小企業者、新規就農林漁業者への支援や移住定住の促進、健康長寿社会への取り組みなど、雇用の創出や地域の活性化のための事業への投資も積極的に行われており、

各課等においても歳入確保・歳出削減の取り組みや努力が見られる。しかしながら、関係部署間の連携を密にすれば、更なる事業効果・投資効果が得られると思われる事案も見受けられることから、より行政効率を上げ、密度の高い行政を推進するためにも、関連部署の相互連携の強化など、さらなる横断的な取り組みにより、縦割り行政の弊害ともいえる状況を取り除く努力をお願いしたい。

また、次世代につなぐ強固な財政基盤の確立のため、本市が直面している厳しい財政状況をすべての職員が認識し、さらなる行財政改革を推し進めるとともに、効率的かつ堅実な行財政運営を心がけられたい。

決算審査における 議会の意見



今回の委員会では、執行部に対して、さまざまな意見や改善をお願いいたしました。内容としては、当初予算に反映できるか検討を要するもの、業務として改善すべきものなど多岐にわたっております。執行部におかれましては、今回の意見や要望等を十分踏まえた上で、予算要求や予算執行を行っていただきたいと思います。

議員間討議を実施

委員会では、採決の前に議会基本条例第13条で定める「議員間の自由討議」を実施しました。自由討議は、会派間等での協議を経てから行い、今回は、「補助金支出後の効果の検証について」、「決算に係る歳出の説明資料の充実(活動指標の見直し等)について」、「類似事業の見直し(統合・再編)について」、「決算審議を来年度予算に反映するための会議の在り方について」意見が出され、さまざまな協議をいたしました。

そこが聞きたい!! ここを聞きたい!!

一般質問

一般質問が9月17日、18日の2日間で行われ、8人の議員が質問に立ちました。

※掲載原稿は質問した議員本人が要約したものです。

通告番号	質問者	質問事項
8	澤井 一富	①地域介護予防活動について ②天草市の教育全般について
7	下田昇 一郎	②音楽フェス開催による地域活性化について ③スポーツ拠点施設整備事業の進捗状況について
6	赤木 武男	①防災・減災に関連して ②マイナンバーカードの普及と利活用について
5	五通 俊作	①消防団活動について ②10月からの教育無償化について ③天草の歴史について
4	浜崎 義昭	①天草の第一次産業の取り組みと今後について ②漁業操業事故を防ぐための対策について ③世界的に取り上げられている海洋ごみについて
3	若山 敬介	①会計年度任用職員制度について ②A-I化推進について
2	蓮池 良正	①主権者支援の実践 ②市民に優しいまちづくり ③自然と環境に配慮したまちづくり
1	濱洲 大心	①日本ジオパーク認定に向けての取り組み ②佐伊津町下水道処理場について ③ドローンの利活用について ④小中学校教職員の働き方改革について

令和元年第3回天草市議会(定例会)議案等

議案番号	件名	付託先	議決の結果
報告第10号	専決処分事項の報告について(除草作業中に発生した事故に係る和解及び損害賠償の額を定めるもの)	-	-
報告第11号	平成30年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告について(地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により議会に報告するもの)	-	-
議第86号	専決処分事項の承認について(令和元年度天草市一般会計補正予算(第3号))(6月28日から7月4日までの豪雨に伴う災害復旧費として専決処分したため、議会の承認を求めるもの)	付託省略	承認
議第87号	天草市会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定について(地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、条例を制定するもの)	総務政策	原案可決
議第88号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について(地方公務員法及び地方自治法の一部改正による会計年度任用職員制度の創設に伴い、条例を制定するもの)	総務政策	原案可決
議第89号	天草市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等の一部を改正する条例の制定について(地方公務員法の一部改正に伴い、条例を改正するもの)	総務政策	原案可決
議第90号	天草市手数料条例の一部を改正する条例の制定について(工業標準化法及び建築物エネルギー消費性能の向上に関する法律の一部改正に伴い、条例を改正するもの)	建設経済	原案可決
議第91号	天草市複合施設こころす条例の制定について(公の施設を新たに設置するため、地方自治法の規定により、条例を制定するもの)	総務政策	原案可決
議第92号	天草市運動広場条例の一部を改正する条例の制定について(天草市倉岳グラウンドを廃止するため、条例を改正するもの)	総務政策	原案可決
議第93号	天草市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について(災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴い、条例を改正するもの)	教育厚生	原案可決
議第94号	天草市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について(子ども・子育て支援法等の一部改正に伴い、条例を改正するもの)	教育厚生	原案可決
議第95号	天草市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について(住民基本台帳法施行令の一部改正等に伴い、条例を改正するもの)	市民生活	原案可決
議第96号	天草市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について(水道法の一部を改正する法律の施行等に伴い、条例を改正するもの)	市民生活	原案可決
議第97号	天草市立幼稚園条例の一部を改正する条例の制定について(子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、条例を改正するもの)	教育厚生	原案可決
議第98号	天草市学校給食費条例の制定について(学校給食費の公会計化に伴い、条例を制定するもの)	教育厚生	原案可決
議第99号	天草市立本渡看護専門学校条例の一部を改正する条例の制定について(大学等における修学の支援に関する法律の制定に伴い、条例を改正するもの)	教育厚生	原案可決
議第100号～103号	令和元年度天草市一般会計補正予算(第4号) 令和元年度天草市介護保険特別会計補正予算(第2号) 令和元年度天草市斎場事業特別会計補正予算(第1号) 令和元年度天草市病院事業会計補正予算(第1号)	予算決算	原案可決
議第104号～116号	平成30年度天草市一般会計歳入歳出決算の認定について 平成30年度天草市特別会計歳入歳出決算の認定について(国民健康保険特別会計など9件) 平成30年度天草市病院事業会計決算の認定について 平成30年度天草市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について 平成30年度天草市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	予算決算	認定
請願第2号	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書の提出を求める請願書	総務政策	採択
請願第3号	天草市議会議員宮下幸一郎氏への議員辞職勧告決議を求める請願書	議会運営	趣旨採択
議員提出第4号	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書の提出について	付託省略	原案可決 9月20日に関係大臣等へ送付
議員提出第5号	教職員定数の改善及び義務教育に係る確実な財源保障に関する意見書の提出について	付託省略	原案可決 9月20日に関係大臣等へ送付
議員提出第6号	宮下幸一郎議員に対する議員辞職勧告決議について	付託省略	原案可決

- 議第100号 令和元年度天草市一般会計補正予算(第4号)
- 議第104号 平成30年度天草市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 議第105号 平成30年度天草市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議第107号 平成30年度天草市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 請願第3号 天草市議会議員宮下幸一郎氏への議員辞職勧告決議を求める請願書
- 議員提出第6号 宮下幸一郎議員に対する議員辞職勧告決議について

賛否表

議員名	天政会		市民クラブ		政友会		新風天草		日本共産党	公明党	無党派		表決数	結果															
	池田 裕之	脇島 義純	中村 三千人	勝木 幸生	鶴戸 継啓	大塚 基生	益田 政昭	下田昇 一郎	五嶋 善彦	澤井 一富	浜崎 昭臣	平山 泰司			船辺 修	柴田 友二	中尾 茂	田中 大心	濱洲 正之	蓮池 良正	浜崎 義昭	赤木 武男	五通 俊作	古賀源 一郎	若山 敬介	宮下幸 一郎	門口 徹		
議第100号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23:2	原案可決	
議第104号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23:2	認定
議第105号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23:2	認定
議第107号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23:2	認定
請願第3号(趣旨採択)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21:3	趣旨採択
議員提出第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	24:0	原案可決

※電子表決システムにより採決を行ったものに限ります。(○は賛成、×は反対)※趣旨採択とは、請願の内容そのものについてはそのままでは認められないが、その趣旨には賛同できる場合に用いられます。※古賀源一郎議員は議長職のため、表決には加わりません。

【天草ジオパークの認定について】
濱洲 3月議会で質問を行い半年が経つが、2市1町で組織する天草ジオパーク推進協議会での協議は現在どのような状況か。

濱洲 不足を補うために助教諭免許の活用や、中学校の部活動に「部活動指導員」の導入はできないか。教育部長 現在本市には、この臨時免許状を取得している教員は、いない。熊本県と相談しながら、今後研究していきたい。部活動指導員についても県の配置事業の内容を見据え慎重に考えていく必要がある。

【小中学校教員の働き方改革】
濱洲 小中学校の教員数は足りているのか。労働環境等はどうなのか。教育部長 今年度の4月段階では教員不足はなかったが現在、病気が休暇に伴う不足が1人未補充となつている。労働環境としては、昨年度1年間で、月に超過勤務が80時間を超えた者が延べ人数で、789人であった。

●小中学校教員の働き方改革 ●天草ジオパークについて

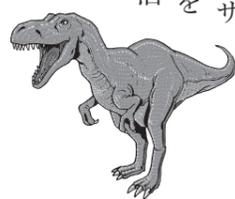


濱洲 大心 議員

観光文化部長 今後の審査結果を今後のジオパーク活動を見直す良い機会として捉え、現在慎重に議論を重ねている。この後、11月下旬まで組織体制および事業計画について協議を行っていく。またまり次第改めて報告をしたい。

濱洲 日本ジオパークの認定から外れた場合、天草市単独でも認定を受けられるのか。観光文化部長 可能ではあるが、もう一度、構想から立ち上げ組織化して認定審査を受けねばならない。必要性和将来性を見極めて慎重な協議が必要。

濱洲 2023年の開館に向けて御所浦白亜紀博物館を建設していくが、今後もここを拠点として現在のジオサイトも推進していくのか。観光文化部長 今後も新博物館を中心とし各ジオサイトの情報発信を行い自然教育活動の発展につなげていきたい。



主権者支援の実践



連池 良正 議員

【7月参院選の特徴と課題】

蓮池 前回から18歳選挙権が実施され、今回が2回目。低投票率および新しい政党から新当選者が生まれたことにより、既成政党への「物足りなさ」が増幅されつつある。選挙制度そのものの学習機会が日常的には、主権在民を第1の柱に掲げる日本国憲法下に暮らす国民一人ひとり（有権者）に対して用意されていない現状であり、投票結果の特徴をまず総括的に答弁いただきたい。青年層等の投票率低下の本市での概要を紹介いただきたい。投票率の問題をどのように考えていくべきか、選挙管理委員会では、議論されることはあるか。

●県下トップの投票率でも...

選挙事務局長 今回の本市全体の投票率は、選挙区、比例区ともに56.6%で、県全体の47.23%を上回り県下14市のトップだった。しかしながら、18歳・19歳の投票率は、24.66%と全体を大きく下回る結果となっており、20歳代の投票率も32.24%にとどまっている。3年前と比較しても低下しており、全国的な傾向。選挙啓発活動を通して改善可能な課題ととらえ、今後も真摯に取り組み。選挙管理委員会では、選挙のつど反省点や課題、その改善策等に意見をいただき、次の選挙執行に活かしている。

●バリアフリー化の徹底状況

蓮池 ハード面とソフト面から説明

いただきたい。投票所の段差解消等ハード面は、「要望に対応」ということなので、各投票所の立会人区長の方々等を通じて、必要な対応はされていると思うが、有権者の高齢化は年々進行しており、投票所までの距離が従来より遠くなった箇所も少なくない。期日前投票と組み合わせることで、もっと活用できる分野と考えるがいかがか。

選挙事務局長

ハード面では、簡易スロープの設置や車いすの臨時配置等、可能な限り対応している。ソフト面では、選挙直近の広報紙や、みつばちラジオを利用して、不在者投票制度や郵便投票制度の案内をしている。

●遠い居住者等へ配慮・工夫等

蓮池 選挙民の高齢化はこの地域でも進行中。可能であれば、より近場の公共施設で期日前投票を実施することも、有権者の利便性確保につながる。規定を定めて改善策の実施が望まれる。

期日前投票に来た人に、テレビの政見放送のようにコンパクト化した映像を流して、ご覧になった上で投票していただくというのではない。以前は実施されていた立会演説会的な取り組みも、選挙管理委員会主権なら公正公平に実施できる。法令改正が伴うので、全国的な話題が国会に反映されるべき。



浜崎 義昭 議員

●天草のオリーブ栽培は成功したか

●漁業操業事故防止策

●海洋プラスチックごみ回収

浜崎 今まで、本市がオリーブ栽培事業に投入した費用・農家および事業者が投入した費用はいくらか。オリーブ栽培事業として販売等の実績は。今後、どのような展開を考えているのか。

経済部長 事業を始めた平成22年度から30年度までの9年間に、本市がオリーブ栽培事業に対して支出した合計金額は、人件費を含めて2億2,960万5,000円。農家および事業者がオリーブに投入した費用は、市の補助に係る個人負担分で合計約5,000万円。平成30年度の商品販売額は2億2,250万円。

オリーブ栽培事業については、これまでの調査研究の成果として栽培管理の方法など、ある程度確立されてきた。今後、生産者等の意向を確認しながら、来年度以降の補助事業や支援体制を決定していきたい。

浜崎 昨年の漁業操業時の事故が4件、本年度は現時点で1件の事故が起きている。漁業は、気象が変化する中で多様な作業に従事し、常に危険と背中合わせ、海が荒れているときには波が絶えず甲板を

洗い、滑りやすい状態となり、そのような状況の下で漁労などの作業を繰り返すことから様々な危険が潜んでいる。

安全に作業を行うには日々改善される漁業作業機器の導入が早急に必要なと考える。行政からの補助が必要。油圧ストッパー設置補助はできないか。

経済部長 事業主が安全対策に万全を期していただくが大前提と考える。

浜崎

全国市議会議長会(産業経済委員会)においても、「漁場機能の維持・回復等に向け、漁業者等が行う海洋ごみの回収・処理、水産都市の漂流・漂着・海洋ごみ対策への財政措置拡充」との国への要望を決定された。海洋ごみ回収を行うと費用はどのくらい必要か。

海洋都市天草が、世界に先駆けて漁業者が回収する海洋ごみの買い取りを行うよう要望する。

経済部長

国土交通省の清掃船が一隻当たり年間予算1億5,000万円で運用されている。市としては、みつばちラジオやケーブルテレビなどを活用して、ごみの発生抑制に努めている。

●会計年度任用職員制度について AI化推進について



若山 敬介 議員

若山 この制度の創設理由は、総務部長 法の一部改正により、現在の臨時・非常勤職員が一般職の地方公務員として位置付けされたために条例改正が必要となった。

若山

いつからの施行か。採用はいつの時期に、何人採るのか。
総務部長 令和2年4月1日施行。年内から募集して、2月下旬までに決定する。100人程度公募する。

若山

会計年度任用職員制度導入に関して、地域に与える影響は。国の予算措置は受けられるのか。
市長 この制度の創設により、市内経済の活性化につながってほしい。予算要求は、全国市長会で要望を行っていききたい。

若山

全国の自治体でAI(※1)による取り組みが進んでいるが本市は。
総合政策部長 平成30年からICT(※2)を活用した取り組みを進め、RPA(※3)導入により、公共料金関連や健康診断関連業務で効率化が図られている。



若山 先進的な技術の導入は、積極的に推進し、事務の効率化を図ってほしい。また、本来、職員が果たさなければならぬ業務(市民の課題を解決する)の適正化を図りながら、住民サービスの向上に今後とも努めてほしい。

(※1) P4参照。
(※2) 情報通信技術。
(※3) P4参照。



五通 俊作 議員

●消防団活動について ●教育無償化について ●天草の歴史について

【消防団員の退職償金について】

五通 消防団を40年勤めた方に条例を変えて退職償金を出すか、勤続30年で一旦退職償金を支給し、その後は勤続年数に応じた退職償金に変えるなど条例の見直しは。

市長 県下14市では、独自の条例を制定し30年以上勤務された団員に対して年数に応じて退職償金を支給している市はない。消防団幹部会議においても退職償金の見直しの意見は出ていない。このような状況を踏まえ、条例の見直しは考えていない。

【認可外保育施設について】

五通 認可外保育施設等の利用者の無償化も一旦利用料を支払う方法(償還払い)から利用料の納付が不要(現物給付)とはならないか。

健康福祉部長

制度開始の10月分については、原則の取り扱いである償還払いとしている。11月以降については、保護者が支払った10月分の無償化対象サービスの利用料を踏まえ、認可外保育施設の運

営状況等を確認したうえで、保護者と施設間での代理受領について合意が得られた場合、無償化対象の保護者の利用料の納付が不要となる現物給付に対応していきたい。

【天草の語源、由来について】

五通 天草イラストマップや天草総合ガイドブックへ、語源や由来の掲載ができないか。

観光文化部長

「天草」の地名の由来については諸説あり、明確な答えは出ていない。現状では、語源や由来を記載することは難しい。

五通 諸説をありのまま載せていただければ、読んだ人が「古事記」「日本書紀」の700年代へ思いを巡らしていける。今後、「天草」の研究が進み、検討されることを期待する。



●防災・減災に関連して何う ●災害発生時の不明者の名前の公表を ●マイナンバーカードの普及と現状は



赤木 武男
議員

赤木 熊本地震における天草の被害状況と半壊・全壊の被災家屋をなぜ、公費解体に認定しなかったのか。また熊本地震後には防災備蓄品の見直しや飲食品の入れ替え、更新等への取り組みや防災士の養成・育成と資格取得への補助制度の創設をお願いしたい。

防災危機管理課長 五和町では本震で震度6弱を観測。罹災証明発行は住家・アパートが49件、会社・店舗が32件の計81件。半壊は非住家1件。備蓄品の食料品等は当初1,000食を8,000食に、マット・毛布類は4,000枚を備蓄。分散備蓄も本庁・各支所等に配備した。消費・賞味期限のあるものは、防災訓練等で活用してもらった。また防災士の育成は重要であり、自主防災組織への補助金の中で支援をしている。現在、78人の防災士がいる。

市民生活部長 公費解体は市町村の判断で実施。本市では「生活環境保全上、特に必要と認められる場合」との要件を基準とした。

赤木 今後も豪雨や台風・地震などの大規模自然災害が発生する可

能性があるが、このような厳しい認定基準を設けるのか。また、災害発生時の氏名公表について、市長の見解を伺う。

市長 国は氏名公表の統一した基準は設けておらず、非常に難しい問題だが、大規模災害時には人命優先の観点から特別な事情がない限り公表すべきと考える。

赤木 マイナンバーカードの交付率は全国平均を下回っている。交付率推進と利活用等(2021年3月から健康保険証として運用)の方策について伺う。

市長 国の計画では、地方公務員については、本年度末までに家族等を含めカード取得の勧奨を行う。また2022年度中にはすべての医療機関で健康保険証としての資格確認を導入することとしている。カード取得が全国的に低迷しており、取得による行政サービスの簡素化・効率化等が向上するよう取り組みたい。

●地域介護予防活動について ●天草市の教育全般について



澤井 一富
議員

澤井 介護給付費は、年々増加の一途をたどっていると思うが、本市の介護予防の仕組みは。

健康福祉部長 給付費の総額は年々増加している。本市は介護予防の取り組みとして「住民主体による介護予防」を推進している。具体的には「住民運営による通いの場」を推進し、ロコモティブシンドロームの予防としての体操を主体に実施しているほか、様々な取り組みもあり先進的な取り組みとして注目されている。



澤井 福岡市内を中心に自治体に導入されている「ケアトランポリン教室」の導入を検討してどうか。

健康福祉部長 住民主体による身近で気軽に予防活動に取り組む手

法を重視しているので、導入する考えはない。

澤井 携帯スマホの依存使用について、各学校ではどのような指導をされているのか。

教育部長 家庭でのルール作りが第一と考える。学校においても情報モラルに関する授業も行われ、また情報安全出前講座など、子どもや保護者、教職員向けの講座も実施している。

澤井 キャリア教育が今後必要ではないか。

教育部長 すべての小・中学校でキャリア教育年間計画を作成しており、職場体験学習については、市内の全中学校で実施している。また、平成28年度からは「キャリア教育研究推進事業」に取り組み、地場産業や流通についての学習、市場調査、商品開発、宣伝、製作や販売活動等の体験を行っている。これらの学びを通して、情報収集・分析力、判断力、コミュニケーション能力等を有する人材の育成を図るとともに、望ましい職業観や勤労観の育成に努めている。

●デザイン・プロデュースを活用した地域活性化について ●スポーツ拠点施設整備事業の進捗状況について ●音楽フェス開催による地域活性化について



下田 昇一郎
議員

デザイン・プロデュースの活用について

下田 「デザイン経営」「デザイン・プロデュース」といった観点から地域におけるデザイン力を高めることによって、より魅力ある天草を創るためのプラットフォーム構築に取り組みでいただけないか。

経済部長 アマビズ機能を強化しプラットフォームとして活用し、併せて市内の各事業所にデザイン経営を取り入れる企業を増やすことを進めていきたい。

大矢崎緑地公園の整備について

下田 現在計画されている緑地公園の陸上競技場インフィールド及び多目的広場の整備について、また未来に対して借金を残すのではなく財産となるような整備をお願いしたい。

市長 陸上競技場インフィールドについては天然芝と決定し、多目的広場については現段階では人工芝とする方向で整備費や管理費、素材や特性などの検討を進めている。また、管理棟については「地方創生拠点整備交付金」の対象となり得ることや交流人口の増加に向けた活動など、市民や競技団体の目線を大切に内容を整えていきたい。

音楽フェス開催による地域活性化について

下田 本年7月に多くの天草市民の悲願であった大規模野外フェスが地元出身ロックバンドWANIMAの協力で開催された。「また来年も！」と望む声も多い中、今後の支援策として「ふるさと応援寄附金」のメニューに「WANIMA野外フェス支援金」などの創設を！

総合政策部長 新たなメニューの設定については考えていない。交流イベント等については、「市長おまかせ」といった寄附メニュー等を活用していきたい。

下田 今回の事業の成功は、長い時間を費やして取り組んでいただいた実行委員長や本市の若手職員によるプロジェクトチームの努力の賜物。そして「オール天草」で支えていただいた協力団体や協賛企業並びに地元住民の皆さんの力である。何十年も描き続けた夢が叶い多くの若者の笑顔と熱気に溢れ天草を誇りに思える素晴らしい1日が再び訪れるよう協力をお願いしたい。



熊本市立天草高等学校1年生が第3回定例会のようすを傍聴

9月17日に1年5組と6組、18日に1組と3組の生徒の皆さんが本会議(一般質問)を傍聴しました。ここでは、そのうち4人の感想を紹介します。



1年1組
衣川 愛純さん

政治は一つの考え方や意見によって決まるのではなく、様々な課から情報をもらって未来の天草のことを予測するなど、多くの人の支えで成り立っていると感じました。普段はテレビや新聞でしか見ない政治を目の前で見ることができて良い経験になりました。



1年5組
滝崎 麻緒さん

質問では、私が考えもしなかった問題や、私も疑問に思っていた問題もありました。特に私は「市民に優しいまちづくり」の話合いが印象的で、私たち高校生が関わられるアイデアもありました。私はこれからは、自分たちの地域の問題に目を向け、今の自分たちに何ができるかを考えて生活します。



1年3組
松本 崇太さん

初めての市議会傍聴で、WANIMA Good job!! Release Partyのことがとても気になっていて、開催までの経緯などが知れてよかったです。市議会を傍聴して、僕たちでは考えられないことをたくさん考え、とても難しい問題と向き合っていてすごいなと思いました。



1年6組
岩下 翔龍さん

今の天草の課題を聞くことができ、よかったです。中でも海洋ごみの話はとても驚きました。日本発の海洋ごみがアメリカ西海岸沖にまで達していると聞き、それだけ日本は世界に影響を与えているのだと思いました。今回の傍聴を通して天草についても一度考え直したいです。

※2組と4組の生徒の皆さんは、令和元年12月定例会を傍聴する予定です。

令和元年7月18日

市民クラブ (大塚基生・益田政昭・下田昇一郎・五嶋善彦)

- ◆嘉島町総合運動公園
- ◆益城町総合運動公園
- ◆大津町総合運動公園

スポーツ施設視察

- ①施設整備の概要について
 - (1)施設整備の流れについて
 - (2)施設の概要について
- ②施設の利用状況について
 - (1)町民の利用状況
 - (2)各種大会等の利用状況
- ③施設の維持・管理・運営について
- ④多目的競技場について
 - (1)人工芝を採用された経緯について
 - (2)人工芝および陸上トラック施工業者選定について
 - (3)天然芝と人工芝のメリット・デメリットについて
- ⑤その他
 - (1)施設整備に関して町民の意見はどのように反映されたのか



益城町陸上競技場
全天候型トラック
(1周400m×8レーン)
インフィールド(人工芝)



大津町運動公園
(球技場)
天然芝
ピッチ12,000㎡
縦137m 横88m
メインスタンド2,500人
芝生スタンド 7,500人



大津町運動公園
(多目的広場)
人工芝
ピッチ17,427㎡
縦157m 横111m
ジュニア用サッカー
コート4面 照明設備有

視察を終えて

天草市が現在進めている「スポーツ拠点施設整備事業」の中心となる大矢崎緑地公園の「陸上競技場」及び「多目的広場」に関して、これまで天草市体育協会でも5つの種目団体の間で「天然芝」と「人工芝」での整備方法についてメリット、デメリットや交流人口増にどのように繋げていくかといった議論が交わされてきたのを受け、市民クラブでは天草市体育協会の皆様とともに県内3箇所の視察を行った。

いずれの施設も近年のサッカー人口増に伴いサッカー競技中心の整備が目立ったが、2箇所の人工芝の施設を視察した後に訪れた大津町の「天然芝」の球技場は歩いた感触も軟らかでその良さははっきりと感じられた。

また、それぞれの人工芝の球技場などを視察して大きく感じたのは、同じ人工芝でもグレードによって雲泥の差があり、コストを抑えた整備にはリスクも多いことが印象的だった。天草市でも同様の視察を行っているとのことであるため、今後の整備にしっかりと活かされるよう市民クラブではこれからも注目していきたい。

令和元年7月8日～7月11日

新風天草(中尾友二・田中茂・濱洲大心・前田正之)
古賀源一郎、若山敬介、門口徹

【北海道江別市】 健康都市宣言の取り組みについて

研修報告

江別市では、高齢化率の上昇に伴い、健康寿命を延ばすために、市民へ向けて運動習慣をつけるための呼びかけや、リズムエクササイズ (Eリズム) の普及のほか、地域健康づくり推進員を設置され、地域における健康づくりのサポート役を担っておられた。

また、食育推進の取り組みとして、小学校では稲刈り、収穫、調理などの体験学習、中学校においては、「江別の逸品！お弁当&レシピコンテスト」などが行われていた。

視察を終えて

天草市においても、これから迎える超高齢化社会において、社会保障費・医療費をいかに抑制するかが課題である。年金問題等もあり、長生きはリスクを伴うが、時代の変化に対応すべきと考える。



【北海道当別町】 ドローンを活用した地域振興について

研修報告

当別町では、平成29年4月に道内初のドローン係を設置し、災害時ばかりではなく、農業用として農薬散布や観光面、町のPRとしても活用されていた。

視察を終えて

現在、天草市においてもドローンを活用した色々な取り組みがなされているが、アイデア次第では、いろんな可能性があると感じた。



令和元年7月24日～7月26日

議会運営委員会 (池田裕之・蓮池良正・浜崎昭臣・大塚基生・田中茂・赤木武男・鶴戸継啓・益田政昭)、古賀源一郎

【静岡県藤枝市】 議会運営及び議会改革の取り組みについて

研修報告

藤枝市では、議会活性化の取り組みとしては、予算・決算、提言の審査サイクルと、常任委員会による予算執行チェックや、議会タウンミーティングの開催、議会基本条例の制定、議会タブレット端末機の導入、傍聴人受付簿の廃止などの取り組みを行っているとのことであった。

特に、予算特別委員会は議長を除く全議員、決算特別委員会は半数の11人で構成され、決算審査を年間の総括として重視し、同時に来年度予算に反映させる方法で実施されていた。

方法としては、決算について、いわゆる外部委員による事業仕分けではなく、全職員による一般会計全事業の総点検が行われ、総点検シートを基に、この中から委員により186事業が抽出され、最終的に25事業まで絞りこみ、評価を行ったうえで、来年度予算に反映させるための提言を行うとのことであった。また、決算特別委員会が、この事業評価に基づく提言を行うことに対して、各常任委員会においては、来年度予算に関する政策的課題への提言を行うとのことであった。



【滋賀県米原市】 議会運営及び議会改革の取り組みについて

研修報告

米原市では、平成29年11月から4年間の議会改革の具体的な取り組みとして、議会改革実施計画を策定されていた。本計画は、本年10月まで2年間の前期計画と、翌11月から2年間の後期計画から構成されており、計画の運用では、作成→実行→評価の作業で進め、最終的に長期計画の評価をされていた。情報公開の推進では、伊吹山テレビ局による本会議中継や市公式ウェブサイトでの本会議の録画配信、本会議及び各委員会の原則公開のほか、議会広報の紙面リニューアルなどをされていた。

また、議会基本条例に基づく議会の公平性、透明性の確保と、市民に開かれた議会運営を目的として、議長及び副議長の立候補制と所信表明を導入されていた。

さらに、子ども議会も開催されており、市内の小中学校から推薦された20人が参加。事前学習会の実施のほか、小学校への出前授業や議会訪問の受け入れ、子どもたちとの意見交換の場を設けられていた。

視察を終えて

両市とも、天草市と類似の課題を抱えておられたが、それぞれ進行中の取り組みは、本市の議会運営・議会改革を進めるうえで大変参考になるものであった。

令和元年7月16日～18日

政友会 (浜崎昭臣・平山泰司・船辺修・柴田誠)

【埼玉県草加市】 ごみ処理施設について

視察報告

東埼玉資源環境組合の深井事務局長から、ごみ処理施設について説明を受けた。

本施設は、地元の意向を反映させ圧迫感のないデザインとし、煙突を独立させず建物と一体化しアースカラーを採用することにより、草加市景観計画に適合させ、周辺環境と調和したものに配慮して計画されたとのことであった。

高度な排ガス処理技術を導入することで、ダイオキシン類をはじめとする有害物質の排出軽減にも取り組まれていたほか、発電も行い施設内や草加市民温泉プールなどへ電力を供給するとともに、回収した焼却灰やスラグ、メタルなどの有価物は、運営管理会社へ有償譲渡をされていた。

視察を終えて

天草市においても、安全・安心で経済性に優れ、長期にわたり安定し自然環境に配慮した環境にやさしいごみ処理施設の建設を検討していきたい。



【埼玉県吉川市】 学校給食センターについて

視察報告

吉川市学校給食センター森所長から、新設した学校給食センターについて説明を受けた。前施設は老朽化のため毎年修繕を繰り返しながら給食を供給している状況であったため、一日も早い改築が求められ平成28年に1日7,500食の調理が可能な規模の新給食センターを建設。センターでは、高度な衛生管理の徹底や効率の良い調理環境の確保、食育の推進に寄与する施設整備、ライフサイクルコストの低減などの項目に沿って、安心安全でおいしい給食の提供を継続しているとのことであった。

また、災害時にも稼働できるよう移動式の釜を備えるとともに、駐車場にはマンホールトイレ (災害用トイレ) も設置されていた。

視察を終えて

天草市でも安心・安全な給食、献立の充実、食育、地産地消、環境などに配慮した効率的で質の高い給食センターの建設を検討していきたい。





シリーズ

追跡指令

気になる！質疑のその後!!

今回の指令

大会等誘致事業補助金制度のその後を追跡せよ!!

天草市内の宿泊施設に延べ25人以上の宿泊を伴う各種大会や合宿等で、申請があった団体などに、宿泊延べ人数に応じて補助金を交付している大会等誘致事業補助金。この件については、平成29年第4回定例会の予算決算委員会において、執行部に対し、申請者が補助金を活用しやすいよう宿泊延べ人数と補助金額の区分の見直しを求めた。

今回は、「大会等誘致事業補助金制度」のその後を追跡し、報告せよ!!



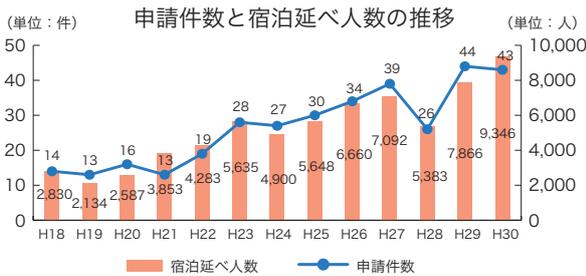
大会等誘致事業補助金制度に関する追跡調査報告書

制度の見直しを求めた直後の平成30年3月に行われた第1回定例会では、従来の区分をなくし、宿泊延べ人数に1人当たり1,000円を乗じた額で算定した補助金が計上されております。

その後、関係機関や大会、合宿等を行う団体等に対する周知や案内を積極的に行ったこともあり、平成30年度は大幅に延べ宿泊人数が増加しており、今年度においても9月30日現在で、申請件数25件、宿泊延べ人数約4,000人となっています。

本制度は、交流人口の増加や経済効果が見込めるものであるため、積極的に周知や案内を行っていくべきと考えます。

これまでの申請件数と宿泊延べ人数の推移は、以下のとおりです。



従 来



見直し後
(平成30年度から)

宿泊延べ人数	補助金額
25人以上50人未満	2万5千円
50人以上100人未満	5万円
100人以上300人未満	10万円
300人以上500人未満	20万円
500人以上750人未満	30万円
750人以上1,000人未満	60万円
1,000人以上	100万円

宿泊延べ人数に1人当たり1,000円を乗じた額 (上限額:100万円)

皆さんに活用してほしい制度です!!



FCKマリーゴールド
スポーツクラブ
濱口 康之 さん

区分なく補助を受けられるようになり、大会運営に大変助かっています。今後も参加者に「天草にまた来たい。」と言われるように、スポーツを通して天草の良さをPRし、地域活性化につながるような大会を開催していきたいと思っております。

編集後記

めっきり日が短くなり、日暮れ時は夕方の喧騒に薄暗さが重なり、相手の姿も区別がつきにくい時間帯です。

毎年10～12月は歩行中の高齢者の交通事故が年間で最も多く、警視庁が5年間を集計したところでは、この3カ月で年間の3分の1以上を占めており、しかも、対自動車の死亡事故に限れば、日没後のわずか1時間に2割が集中しているとのこと。また、日没直後は、暗くなって周辺が見えにくくなる時間帯であり、死亡事故の割合は、なんと昼間の13・9倍にもなるとのこと。

これから年末に向けて、慌ただしくなり忙しい時期を迎えます。運転する側も歩行者も十分気を付け交通事故を起こさないよう気を引き締めましょう。

(五通俊作)

連池 良正

副委員長
下田昇一郎

委員長
柴田 誠

広報聴取委員会

門口 徹

五通俊作

鶴戸継啓

濱洲大心